

教 科	工業(電気電子)	科 目	電気基礎 (選択)	単 位 数	2
履修学年	3学年	使用教科書	電気基礎 2 新訂版 (実教出版)	履修年度	令和 2 年度
科目の 目標	1. 電気に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。 2. 電気に関する公式の変形や計算によって、処理する方法を習得させる。 3. 国家試験や検定試験等の資格取得や進路実現のために必要な基礎学力の確立と充実を目指し、電気理論の理解度と定着度を高めるために演習を繰り返しながら、関連教科との連携を深めていく。				

	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
評価規準	- 電気に関する様々な事象に対して関心を持ち、学習しようという熱意や意気込みが感じられる。 - 学習に取り組む態度が身についており、出席状況が良好である。	- 電気回路に関する基礎的な知識と技術を活用し、具体的な計算方法について考察できる。 - 関連する教科の内容を生かし、発展的に思考・判断し、考え方を的確に表現できる。	- 各種電気現象に関する公式を活用し、適正な値を求めることができる。 - 実験機械・器具・計測器の機能を正確に理解し、取り扱うことができる。 - 測定データの処理が正しくでき、結果を的確に書き表すことができる。	- 電気に関する事象について、技術の関連性があることを理解できる。 - 各種の公式の意味を理解し、適正な値を求めることができる。 - 授業時の小テスト、および中間や期末等の定期考査の得点が良好である。
評価方法	授業中の態度、発言、机間巡視、ノート・小テストの提出状況等	定期考査・小テスト	授業中の態度、ノート、定期考査、小テスト	定期考査、小テスト
	上記に示した 4 つの観点に基づき、授業態度、提出物であるノート（整理と工夫等）と小テスト（採点と訂正等）への取り組み状況、小テストや考査の得点等を総合的に評価する。 学期毎の評価を基にして、学年末に 5 段階の評価として総括する。			

学期	月	時数	単 元	学 習 内 容	評 価
1 学 期	4	10	第 1 2 章 各種の波形	1. 非正弦波交流の性質と発生	- 授業態度 - 小テスト - 小テスト等提出状況 「中間考査」
	5 6 7			2. パルス波の基礎と過渡現象	- 授業態度 - 小テスト - ノート等提出状況 「期末考査」
2 学 期	9	12	第 1 3 章 交流に関する計測の基礎	1. 波形観測装置	- 授業態度 - 小テスト - 小テスト等提出状況 「中間考査」
	10 11 12			2. 交流電力と電力量の測定 3. 周波数の測定	- 授業態度 - 小テスト - ノート等提出状況 「期末考査」
3 学 期	1 2	7		4. コイルとコンデンサの測定	- 授業態度 - 小テスト - ノート等提出状況 「学年末考査」